

ニッタク契約選手活躍 石川佳純、田代早紀、石垣優香、森園美咲……【2】

カラー特集 全日本選手権大会……【6】

優勝インタビュー 吉村真晴、福原愛ほか……【14】

記録・戦評 全日本選手権大会……【18】

チャンピオンズ・テクニク 吉村真晴対水谷隼……【28】

話題あれこれ 全日本選手権大会……【33】

日本の肖像 長澤幸一郎(株式会社エフエム東京常勤監査役)……【34】

練習のヒント 織部幸治(ITS三鷹代表)……【36】

多球練習はこれだ 渡辺勝男(丸善クラブ監督)……【38】

新しい観点から卓球を 倉木常夫(元筑波大学教授)……【40】

カラー特集 全日本選手権大会……【53】

越年合宿 武蔵野中学・高校(東京)……【56】

大会報道 全国ろうあ選手権大会……【57】

訪問レポート 階上中学校(宮城県)……【58】

99歳の現役選手 竹内柏夫(秋田県)……【61】

ピンポン東西南北……【41】

第5チャンネル……【42】

各地レポート……【44】

各地ラージボール大会……【50】

みんなのコーナー……【52】

編集室……【52】

ニッタク講習会……【62】

卓球ファンnet……【64】

## Message

初日から大勢の報道陣が駆けつけ、日を追うごとに増えていく。

昭和50年代、当時は駒沢屋内競技場で全日本が行われていた。

前半、男女ジュニア、混合ダブルスの優勝者が決まり、記者会見を行うが、取材はニッタクとタマス、ときどき共同通信の記者がいるぐらいというなんとも寂しいものであった。そういう時代が数年つづいた。

会場が駒沢から代々木第二に移り、東京体育館に。そして綾瀬の東京武道館に移った。

武道館が変わってから愛ちゃんが登場。そこから一気にマスコミの対応が

変わった。

愛ちゃん専用のコートを他の選手の迷惑にならない形で設け、マスコミ陣に対する対応策が取られた。

あれから、13年が経過。その間に愛ちゃんはもとより、四元奈生美選手や水谷隼選手、石川佳純選手など、話題の選手が表われ、卓球人気は衰えるどころか、ますますヒートアップする状況がつづいた。

今年は小学生が大活躍。更にマスコミ陣が増えた。

今日の卓球人気を作った愛ちゃんこと福原愛選手がついに日本タイトルを手にした。おめでとう。(片野)

表紙  
全日本選手権大会女子  
シングルス優勝の福原  
愛選手と張利梓コーチ  
撮影 温 哲亮

